

# クスリのアオキホールディングス株式ファンド (確定拠出年金向け)

## 運用報告書(全体版)

第4期(決算日2022年10月11日)

作成対象期間(2021年10月9日~2022年10月11日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式
信託期間	2019年3月18日以降、無期限とします。
運用方針	原則として、株式会社クスリのアオキホールディングス(以下「クスリのアオキホールディングス」といいます。)の発行する普通株式のみに投資を行ない、当該株式の値動きに連動した投資成果を目指して運用を行ないます。追加設定・一部解約があった場合には、原則として当該追加設定・一部解約の当日に株式の買付けまたは売却を行ない、株式の組入れ比率を高位に維持することを目指します。
主な投資対象	原則として、クスリのアオキホールディングスの発行する普通株式のみに投資を行ないます。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株 組入比率	株 先物比率	純 資産額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 率			
(設定日)	円		円	%	%	%	百万円
2019年3月18日	10,000		—	—	—	—	15
1期(2019年10月8日)	10,841		5	8.5	97.7	—	24
2期(2020年10月8日)	11,323		5	4.5	99.5	—	67
3期(2021年10月8日)	9,984		0	△11.8	99.1	—	91
4期(2022年10月11日)	9,767		0	△2.2	99.3	—	95

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っていないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

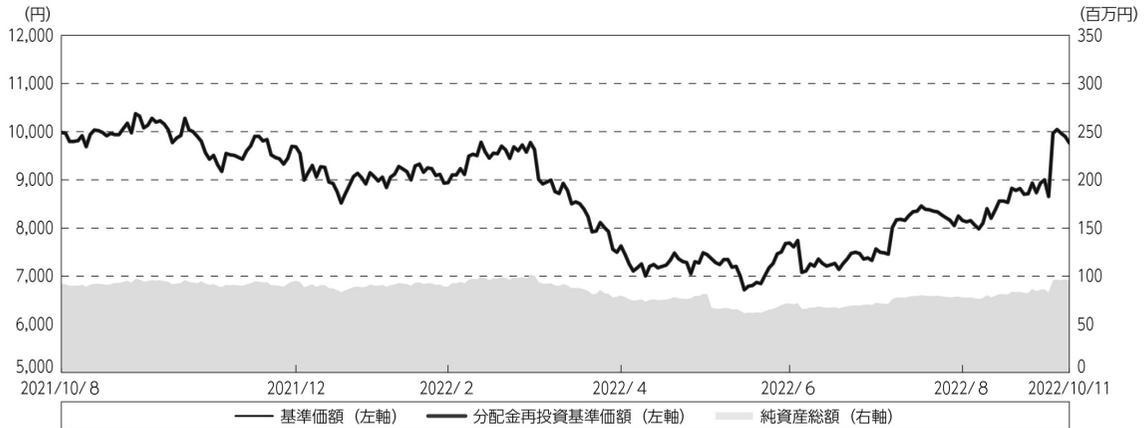
年 月 日	基準	価額		株 組入比率	株 先物比率	式 率
		騰 落	率			
(期首)	円		%	%	%	%
2021年10月8日	9,984		—	99.1	—	—
10月末	10,058		0.7	99.8	—	—
11月末	9,562		△4.2	99.7	—	—
12月末	9,684		△3.0	99.5	—	—
2022年1月末	9,069		△9.2	99.6	—	—
2月末	8,941		△10.4	99.7	—	—
3月末	9,010		△9.8	99.2	—	—
4月末	7,626		△23.6	99.3	—	—
5月末	7,274		△27.1	99.5	—	—
6月末	7,688		△23.0	99.6	—	—
7月末	7,327		△26.6	99.6	—	—
8月末	8,155		△18.3	99.6	—	—
9月末	8,998		△9.9	99.2	—	—
(期末)						
2022年10月11日	9,767		△2.2	99.3	—	—

\* 騰落率は期首比です。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



期首：9,984円

期末：9,767円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△2.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2021年10月8日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の変動要因

クスリのアオキホールディングスの株価の変動

### ○投資環境

国内株式市場は、期首より原油価格や米国の長期金利上昇が一服し過度なインフレ懸念が落ち着いたことなどから上昇しました。2021年11月下旬には、新型コロナウイルスの新たな変異株で感染率が高いと思われるオミクロン株への懸念が高まったことなどにより下落しましたが、その後はオミクロン株の重症化リスクについて楽観的な見方が広がったことなどから上昇しました。

2022年1月以降は、国内でのオミクロン株による新型コロナウイルス感染の再拡大や、ウクライナを巡るロシアと欧米との対立、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻などを受けて下落しましたが、3月中旬以降は、原油価格上昇が一服したことやロシアとウクライナの和平交渉が進展するとの期待が高まったことなどから上昇しました。6月中旬以降は、欧米諸国の金融引き締めによる世界景気低迷への懸念などから下落しましたが、7月以降は、円安米ドル高進

行による輸出企業の収益改善期待や、FOMC（米連邦公開市場委員会）においてパウエル議長が利上げペースの緩和を示唆したことで米国株式が大幅高となったことなどから概ね堅調に推移しました。8月下旬以降は、米国の金融引き締め局面の長期化観測が広がったことなどから下落しました。

一方、クスリのアオキホールディングスの株価は、期首から一進一退の展開となりましたが、2022年3月下旬に発表した連結決算において減益を発表したことなどから下落しました。6月下旬以降は、国内株式市場と同様に堅調に推移しました。

8月以降は、7月度から9月度の月次販売動向が好調だったことや、10月に発表した連結決算が好決算であったことなどから上昇しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

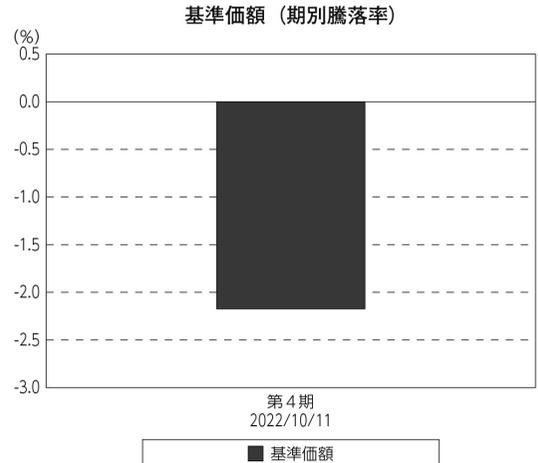
### ・株式組入比率

株式の組入比率は、期を通じ高位に維持しました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っていないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## ◎分配金

経費控除後の配当等収益や基準価額水準を勘案し、今期の収益分配は見送らせていただきました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第4期
	2021年10月9日～ 2022年10月11日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	814

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

今後も、主要投資対象であるクスリのアオキホールディングスの発行する普通株式を高位に組み入れ、引き続き、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年10月9日～2022年10月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 105	% 1.220	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 96 )	( 1.109 )	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	( 5 )	( 0.055 )	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 5 )	( 0.055 )	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.021	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 2 )	( 0.021 )	
(c) そ の 他 費 用	0	0.003	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	( 0.003 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	107	1.244	
期中の平均基準価額は、8,616円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

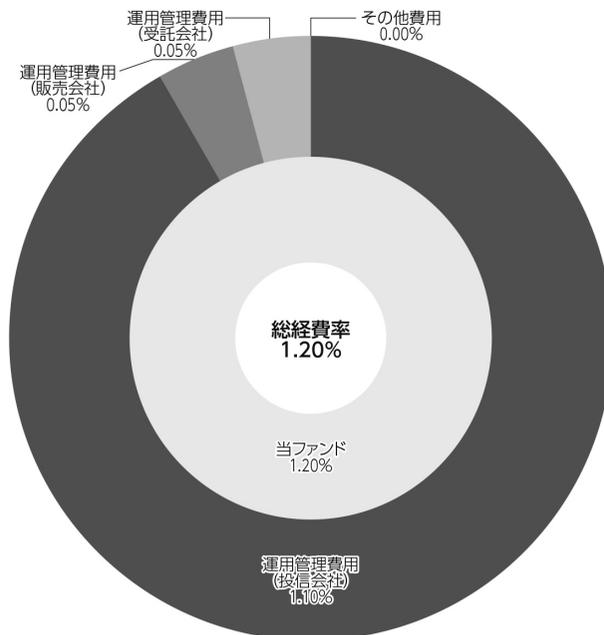
\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.20%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2021年10月9日～2022年10月11日）

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 4	千円 30,474	千株 4	千円 23,777

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

（2021年10月9日～2022年10月11日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	54,251千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	84,649千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.64

\* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2021年10月9日～2022年10月11日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

（2021年10月9日～2022年10月11日）

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取引の理由
百万円 15	百万円 —	百万円 —	百万円 15	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2022年10月11日現在)

## 国内株式

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		株 数	株 数	評 価 額
		千株	千株	千円
小売業 (100.0%)				
クスリのアオキホールディングス		12.1	12.8	94,720
合 計	株 数 ・ 金 額	12.1	12.8	94,720
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	<99.3%>

\*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

\*銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

\*評価額欄の&lt; &gt;内は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2022年10月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 94,720	% 97.3
コール・ローン等、その他	2,671	2.7
投資信託財産総額	97,391	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年10月11日現在）

○損益の状況（2021年10月9日～2022年10月11日）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	97,391,647
コール・ローン等	2,671,647
株式(評価額)	94,720,000
(B) 負債	2,009,924
未払金	1,510,498
未払解約金	26,740
未払信託報酬	471,458
未払利息	1
その他未払費用	1,227
(C) 純資産総額(A－B)	95,381,723
元本	97,654,449
次期繰越損益金	△ 2,272,726
(D) 受益権総口数	97,654,449口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,767円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	340,481
受取配当金	340,572
支払利息	△ 91
(B) 有価証券売買損益	3,189,273
売買益	8,206,436
売買損	△5,017,163
(C) 信託報酬等	△1,032,817
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,496,937
(E) 前期繰越損益金	△8,129,481
(F) 追加信託差損益金	3,359,818
(配当等相当額)	( 6,628,444)
(売買損益相当額)	(△3,268,626)
(G) 計(D+E+F)	△2,272,726
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△2,272,726
追加信託差損益金	3,359,818
(配当等相当額)	( 6,628,444)
(売買損益相当額)	(△3,268,626)
分配準備積立金	1,323,961
繰越損益金	△6,956,505

(注) 期首元本額は91,851,271円、期中追加設定元本額は38,312,516円、期中一部解約元本額は32,509,338円、1口当たり純資産額は0.9767円です。

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 \*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 \*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2021年10月9日～2022年10月11日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2021年10月9日～ 2022年10月11日
a. 配当等収益(経費控除後)	240,814円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	6,628,444円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,083,147円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	7,952,405円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	814円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

## ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

## ○お知らせ

---

該当事項はございません。